

3. 「愛・地球博」出演に向けて—愛知県女性消防クラブ連絡協議会が交流研修—

去る4月16日（土）、快晴の下、愛知県婦人消防クラブの永坂会長（碧南市）、常沢（津島市）・小林（蒲郡市）両副会長をはじめ県下市町村の会長さん10数名が続々JR恵那駅に集合し、恵那駅から明智鉄道のイベント列車「寒天列車」に乗り込みます。

この鉄道界限は、寒天の生産が盛んだとのことですが、3段重ねの寒天料理に舌鼓を打ちながら、去年の福井豪雨や中越地震へ炊出し支援に赴いた面々も打ちそろい、ビール片手にワイワイがやがや、支援の苦労やよもやま話しがはずみます。

引率は県消防協会若山事務局長さんと職員の勝川さん。また前日の同県大治町婦人防火クラブ総会に招かれた（財）日本防火協会梅次総務部長にも声をかけ、氏も早速飛び入り参加。

1両だけの列車は、明智光秀や日光東照宮を造営した天海僧正の出身地と云われる明智駅までおよそ1時間、のんびり新緑まぶしい渓谷や山村風景を眺めながらの旅です。

明智町は「大正村」としても著名な行楽地で、栃錦に続く2代目村長さんは女優の司洋子さんとか。東京も名古屋もとっくに葉桜ですが、高地らしく桜もこぶしも今が盛りと満開です。一行は、大正ロマンの夢溢れる施設や町並みをたずね、“遠山の金さん”ゆかりの樹齢400年と云われる「遠山桜」の前でもハイ、ポーズ！

同県女性防火クラブ連絡協議会は、9月1日防災の日に、万博会場お祭り広場でのクラブ員のみによる防火をテーマの大イベントを控えています。展示パネル、太鼓や踊りを通じ、家庭防火を入場者にアピールしようと3時間のプランに話題も集中。

その前に、まずは結束を深め、鋭気を養おうと会長の音頭で企画された交流・研修会、県連幹部の皆さんも日ごろの忙しさを忘れ、笑いの絶えない春の一日を過ごしました。



▲このページの上に戻る

目次

- [1. 「住宅用火災警報器P Rハンドブック」等を活用した住宅防火の推進について](#)
- [2. 婦人防火クラブ員救急講習会—A E D\(自動体外式除細動器\)使用法を学ぶ—](#)
- [3. 「愛・地球博」出演に向けて—愛知県女性消防クラブ連絡協議会が交流研修—](#)
- [4. 道府県婦人防火クラブ連絡協議会 会長だより](#)
- [5. 熊本県婦人防火クラブ連合会 新会長紹介](#)
- [6. 地方からの便り](#)
- [7. あなたも危険物取扱者・消防設備士](#)